

令和元年度

教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書

令和2年11月

玉野市教育委員会

目 次

基本方針	1
令和元年度 重点施策の体系	2
玉野市教育委員会の機構及び事務分掌	3
令和元年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	4
(2) 令和元年度教育委員会会議の開催状況	4
(3) 教育委員会議決案件	5
(4) 教育委員懇談会	6
(5) 教育委員学校等視察	6
(6) その他の活動	7
教育費決算額	8
令和元年度主要推進事業に関する自己評価	
事業一覧	10
Ⅰ. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実	13
Ⅱ. 心豊でたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進	20
Ⅲ. 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興	38
学識経験者による意見	50

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和元年度 基本方針

今日、市民は、学習活動や文化・スポーツ活動、ボランティア活動等への参加を通じて、心身ともに健やかで、生きがいと喜びに満ちた豊かな人生の実現を目指しています。

このような市民の願いを受け、玉野市教育委員会は、「みんなで築くたまのプラン（玉野市総合計画）」に基づいて、市民参加による施策づくりを推進し、人間尊重の精神を基調にした生涯学習社会の実現を目指します。

豊かな心と確かな学力を身につけ、自分の夢の実現に向かって歩む子どもを育成するため、学校教育においては、キャリア教育と学力向上を柱とする中学校区一貫教育を推進します。自ら挑戦する意欲や社会性・創造性を伸ばすとともに、正義感や倫理観、思いやりの心や地元玉野を愛する心を育み、地域を教育フィールドとして活用しながらグローバル人材育成にも取り組みます。

また、教職員の資質能力の向上を図るとともに、特別支援教育等の教育支援体制の充実による子どもたちの健全育成や授業の質の向上等を推進します。さらに、子どもたちの学習意欲を高め、アクティブラーニング等の指導内容の工夫改善により、自ら学び考える力を伸ばし、学力向上に努めます。

さらに、各種施設の整備、教育環境充実に努めるとともに、各校・園は、主体的な学校園経営を行い、家庭や地域と協力・連携して、子どもの安全確保や食育・体力向上などの取組を進め、地域に開かれた魅力と特色ある「信頼される学校園づくり」を推進します。

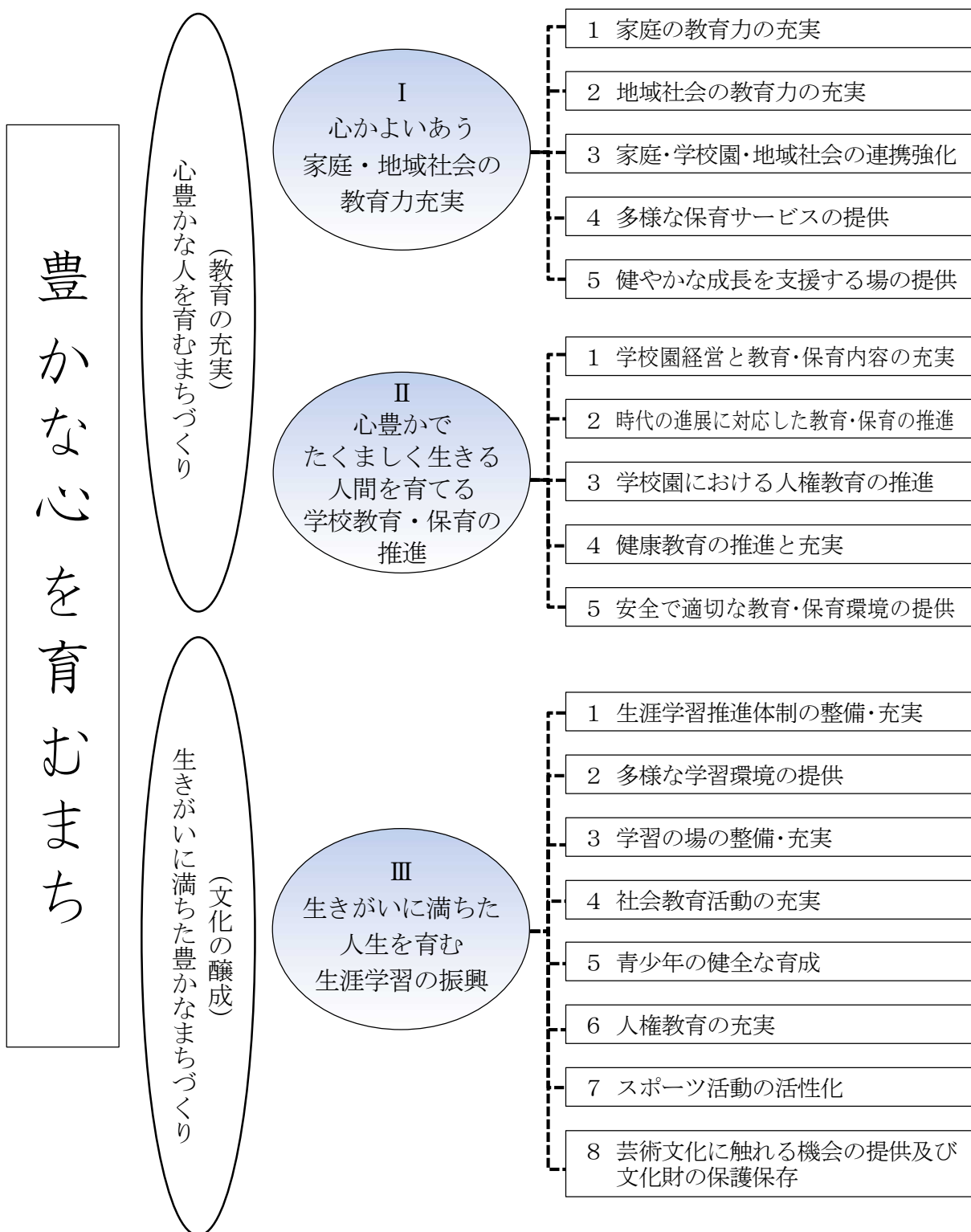
社会教育においては、市民の生きがいのある生活づくりや健康づくりを推進するため、地域住民等の意向を反映させながら、関係団体とも連携して、生涯学習の場と機会の提供を充実させ、芸術・文化、スポーツの振興を図ります。

また、子育てに関する学習の機会を提供する等、家庭教育を支援する環境整備に努めます。

さらに、地域の教育力を高め、地域の活性化や世代間交流を図る活動を推進しながら、学校・家庭・地域が相互に協力し、地域ぐるみで未来を担う子どもたちを育む支援体制の充実に努めます。

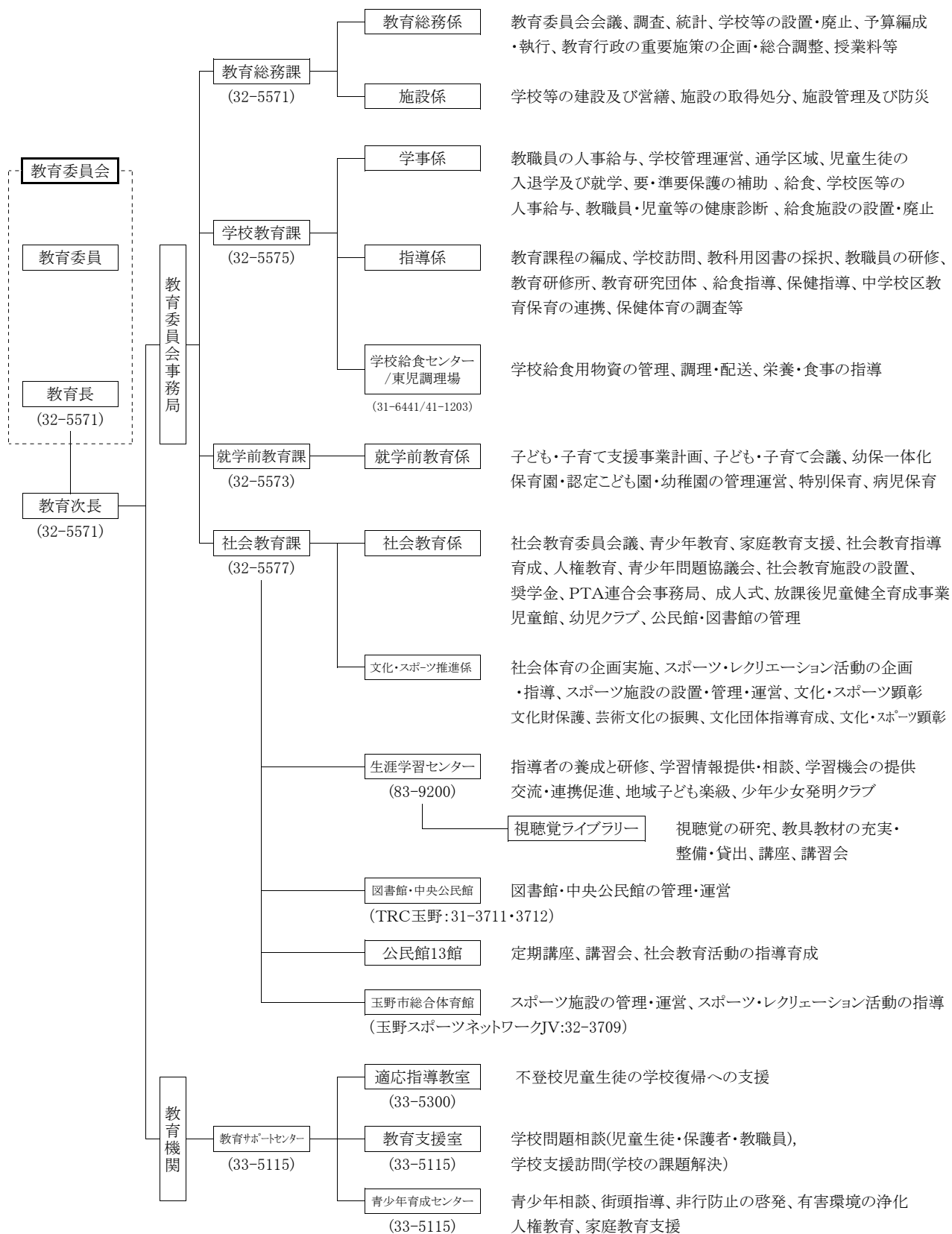
諸施策の実施に当たっては、教育委員会が積極的に情報を発信し、関係諸機関や教育関係団体との連携のもと、広く市民の理解と協力を得ながら、心豊かな人づくりと、生きがいと満ちたまちづくりに取り組みます。

令和元年度 重点施策の体系



玉野市教育委員会の機構及び事務分掌

[令和2年3月31日現在]



令和元年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（令和2年3月31日現在）

役 職 名	氏 名	就任年月日	現 任 期
教 育 長	いしかわ まさふみ 石川 雅史	平成29年4月1日 2期目	令和元年10月1日 ～令和4年9月30日
教育長職務代理者	の だ ようじ 野田 洋二	平成23年6月27日 3期目	平成30年4月1日 ～令和3年3月31日
委 員	おおかわ よしお 大川 佳郎	平成28年10月1日 1期目	平成28年10月1日 ～令和2年3月31日
委 員	せのお え み 妹尾 恵美	平成30年4月1日 1期目	平成30年4月1日 ～令和4年3月31日
委 員	かとう まさえ 加藤 正枝	平成31年4月1日 1期目	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日

(2) 教育委員会 会議開催状況 （ ）は秘密会

開催日	教育長報告	議事	協議	その他	開催日	教育長報告	議事	協議	その他
4/ 5	1		2	3	10/14	1			5
4/26	1	3	1	6	11/ 5			1	1
5/14		1	2	2	11/26			1	3
(5/14)		1			12/24	1	1		6
5/28		1	4	2	1/28	2	2		3
6/11		1	2	5	2/12				1
(6/11)		1			2/25		1		4
7/9	1	4	1	8	(2/25)		1		
7/23	1	1	1	3	3/12			1	
(8/ 6)		3			3/24	1	7	1	3
8/27			1	2	(3/24)				1
9/25	1	3	1	2					

計	教育長報告	議事	協議	その他
19回	10	31	19	60

(3) 議決案件

No.	月 日	議 決 事 項
1	4 月 26 日	玉野市指定学校変更事務取扱要綱の一部改正について
2	〃	公民館運営審議会委員の委嘱について
3	〃	図書館協議会委員の任命について
4	5 月 14 日	玉野市社会教育委員の委嘱について
5	〃	令和 2 年度使用玉野市教科用図書（小学校）の採択について（秘密会）
6	5 月 28 日	玉野市奨学生選考委員の委嘱について
7	6 月 11 日	令和元年度玉野市奨学生選考委員会の選考結果について
8	〃	令和 2 年度使用高等学校教科用図書採択について（秘密会）
9	7 月 9 日	玉野市立学校徴収金取扱要綱の一部を改正する要綱について
10	〃	令和元年度玉野市芸術・文化振興助成金の選考について
11	〃	たまのっ子育成支援委員会委員の委嘱について
12	〃	玉野市スポーツ推進委員の委嘱について
13	7 月 23 日	玉野市文化財保護委員の委嘱について
14	8 月 6 日	令和 2 年度使用小学校教科用図書採択の決定について（秘密会）
15	〃	令和 2 年度使用中学校教科用図書採択の決定について（秘密会）
16	〃	令和 2 年度使用高等学校教科用図書採択の決定について（秘密会）
17	9 月 25 日	玉野市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
18	〃	玉野市立幼稚園一時預かり保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について
19	〃	東京 2020 オリンピック聖火リレー 聖火ランナーの選考について
20	12 月 24 日	玉野市地域学校協働活動推進員設置要綱について
21	1 月 28 日	「玉野市立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針」の策定について
22	〃	玉野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
23	2 月 25 日	玉野市立学校職員服務規程の一部改正について
24	〃	教育長の辞職願に対する同意について（秘密会）
25	3 月 24 日	玉野市立学校管理規則の一部改正について
26	〃	玉野市立学校徴収金取扱要綱の一部を改正する要綱について

No.	月 日	議 決 事 項
27	3 月 24 日	玉野市費負担教員の任用等に関する規則の一部改正について
28	〃	玉野市教育委員会非常勤講師等の勤務条件に関する規則の制定について
29	〃	玉野市費非常勤講師等の任用、報酬、勤務時間その他の勤務条件に関する要綱及び玉野市立学校非常勤職員の任用、報酬、勤務時間その他の勤務条件に関する要綱を廃止する要綱について
30	〃	玉野市スポーツ推進委員の委嘱について
31	〃	玉野市教育委員会の特殊な勤務に従事する職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正する規程について

(4) 教育委員懇談会

令和元年度共通テーマ：「『たくましく まなんで のびる たまのっ子』を育むために」

回	月 日	テーマ	参加者	人数
1	7 月 9 日	指定管理者としての取組、パラスポーツ振興に向けた取組等について	玉野スポーツネットワークJV 職員 総合政策課 職員	3
2	11 月 26 日	小中学校におけるキャリア教育の現状と課題	市立小中学校 教員	5
3	2 月 12 日	特別支援教育の現状と課題	市立小学校 教員、非常勤講師、学校サポートスタッフ	5

(5) 学校等視察

新任校長園長の学校園及び特別の事情のある施設、前年度訪問できなかった施設を中心に、教育委員会が管轄する施設のうち半数程度を視察する。(25/47 施設)

7 月 9 日	9 月 25 日	10 月 24 日	11 月 5 日	11 月 26 日	2 月 25 日
玉野市総合体育館	大崎小学校	宇野幼稚園	玉原小学校	渋川保育園	銚立認定こども園
	大崎認定こども園	八浜中学校	宇野小学校	日比幼稚園	東児中学校
	田井小学校	紅陽台ちどり保育園	築港小学校	二日比小学校	東児調理場
	日比中学校	玉中学校	玉小学校	宇野中学校	サンマリン認定こども園
	玉認定こども園	槌ヶ原ちどり保育園	和田保育園		後閑小学校

(6) その他の活動

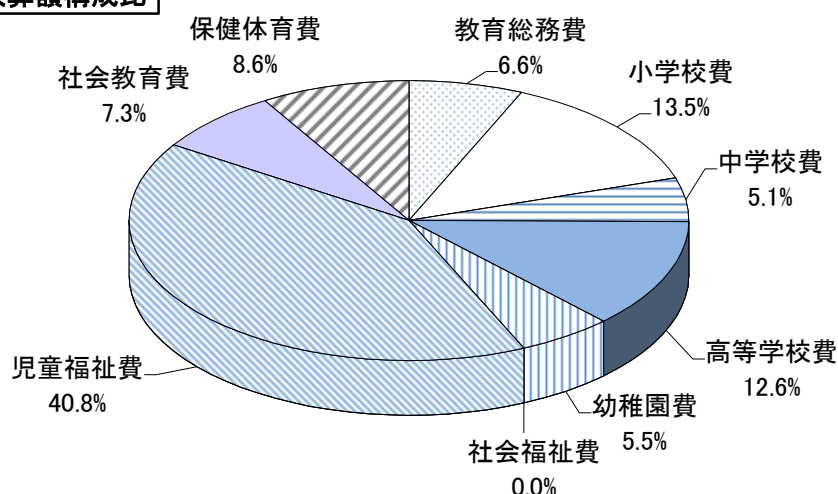
月 日	内 容	場 所
4 月 5 日	玉野市教育功労者感謝状贈呈式	玉野市役所
7 月 17 日	岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会	くらしき健康福祉プラザ
7 月 23 日	グロスターホームステイ壮行式	玉野市役所
8 月 23 日	中学校区教育研究発表会	荘内センター
8 月 24 日	英語スピーチコンテスト	荘内センター
8 月 27 日	グロスターホームステイ報告会	玉野市役所
〃	第 1 回総合教育会議	玉野市役所
10 月 15 日	県外先進地視察	香川県直島町立直島中学校
11 月 3 日	文化・スポーツ顕彰表彰式	中央公民館前特設会場
〃	文化協会表彰式	中央公民館前特設会場
1 月 12 日	玉野市成人式	マリンホテル
2 月 25 日	第 2 回総合教育会議	玉野市役所
3 月 24 日	第 3 回総合教育会議	玉野市役所

2 教育費・民生費（教育委員会所管分）決算額

(1) 令和元年度決算額内訳

項	金額(千円)	前年度比(千円)	伸び率(%)
教育総務費	247,508	△ 27,450	△ 10.0
小学校費	505,444	196,531	63.6
中学校費	190,193	△ 53,826	△ 22.1
高等学校費	474,294	2,400	0.5
幼稚園費	206,398	2,046	1.0
社会福祉費	0	△ 6	△ 100.0
児童福祉費	1,531,241	△ 19,153	△ 1.2
社会教育費	274,307	△ 15,973	△ 5.5
保健体育費	322,765	△ 853	△ 0.3
計	3,752,150	83,716	2.3

令和元年度決算額構成比



(2) 教育費決算額の推移

項	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育総務費	280,903	317,061	321,621	274,958	247,508
小学校費	828,058	520,794	330,473	308,913	505,444
中学校費	571,126	319,456	181,143	244,019	190,193
高等学校費	984,436	437,055	486,505	471,894	474,294
幼稚園費	217,912	203,830	220,380	204,352	206,398
社会福祉費	(平成28年度から発生)	3,044	3,174	6	0
児童福祉費	(平成28年度から発生)	1,492,980	1,536,646	1,550,394	1,531,241
社会教育費	339,807	793,611	297,026	290,280	274,307
保健体育費	311,021	299,472	312,194	323,618	322,765
計	3,533,263	4,387,303	3,689,162	3,668,434	3,752,150

令和元年度主要推進事業に関する自己評価

「令和元年度玉野市教育行政重点施策」において掲げた主要推進事業への取り組み状況、達成度などについて、A、B、C、Dの四段階で自己評価を加えた。

【評価基準】

- A … 十分な成果があった
- B … 概ね満足な成果があった
- C … 成果がやや不十分であった
- D … 成果に不満が残った

令和元年度主要事業の点検・評価 事業一覧

I. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実

【区分】家庭・地域社会の教育力の充実

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
地域子ども楽級推進事業	〈社会教育課〉	B	13
家庭教育支援事業	〈社会教育課〉	A	14
地域学校協働本部事業	〈社会教育課〉	B	14
玉野市子ども会連絡協議会研修事業	〈社会教育課〉	B	15
たまのスチューデントガイドプログラム	〈社会教育課〉	A	15
成人式開催事業	〈社会教育課〉	B	15
たまの地域人づくり大学	〈社会教育課〉	A	16
児童館管理運営事業	〈社会教育課〉	B	16
放課後児童クラブ管理運営事業	〈社会教育課〉	A	17

【区分】多様な保育サービスの提供

病児保育事業の実施	〈就学前教育課〉	A	17
子育て支援情報の提供	〈就学前教育課〉	B	18
一時預かり事業の実施	〈就学前教育課〉	B	19

II. 心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進

【区分】心と体の育成

スクールカウンセラー配置事業	〈学校教育課〉	B	20
スクールソーシャルワーカー配置事業 就学前からのスクールソーシャルワーカー活用調査・研究事業	〈学校教育課〉	B	20
中学校キャリア教育推進事業	〈学校教育課〉	A	21
生徒指導体制の充実（玉野市教育支援体制の推進）	〈学校教育課〉	B	21
適応指導教室運営事業	〈学校教育課〉	A	22
教育支援室運営事業	〈学校教育課〉	A	22
教育サポートセンター機能強化調査研究事業	〈学校教育課〉	A	23
小学校不登校対策実践研究事業	〈学校教育課〉	B	23
夢を育む！たまのっ子育成事業	〈学校教育課〉	B	24
アレルギーメールマガジンの配信	〈学校給食センター〉	A	24
学校における食育の推進	〈学校教育課〉	B	25

【区分】学力向上の推進

35人学級実施事業	〈学校教育課〉	B	26
小学校 学力・人間力育成事業	〈学校教育課〉	B	26

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
中学校 学力・人間力育成事業	〈学校教育課〉	B	26
グローバル人材育成事業	〈学校教育課〉	B	27
英語力向上 I C T教材活用事業	〈学校教育課〉	A	27
学力向上プラン作成と実践	〈学校教育課〉	B	27
中学校区研究指定事業	〈学校教育課〉	A	28

【区分】特別支援教育の充実

学校サポートスタッフ配置事業	〈学校教育課〉	A	28
特別支援教育ネットワーク連絡協議会	〈学校教育課〉	B	29
特別支援教育サポートチームの派遣	〈学校教育課〉	B	29
授業のユニバーサルデザインの推進	〈学校教育課〉	B	29

【区分】保育士・教員等の指導力向上

保育協議会研修会の実施	〈就学前教育課〉	A	30
幼児教育推進体制の充実・活用強化事業	〈就学前教育課〉	A	31
各種研修会の実施	〈学校教育課〉	B	31

【区分】教育環境の整備

教職員の働き方改革推進（教職員ワークライフバランス適正化プロジェクト） 学校現場における業務改善加速事業	〈学校教育課〉	A	32
学校事務の共同実施	〈学校教育課〉	A	32
中学校区一貫教育の充実	〈学校教育課〉	A	33

【区分】安全・安心の確保

地域パトロール隊	〈学校教育課〉	A	33
----------	---------	---	----

【区分】市立高校の充実

市立高校の魅力づくり	〈学校教育課〉	B	34
学校運営協議会設置・拡充に向けた調査研究事業	〈学校教育課〉	B	34

【区分】スポーツ・文化芸術活動の振興

競技スポーツ振興事業	〈学校教育課〉	B	35
玉野市立学校 文化・芸術活動等育成事業	〈学校教育課〉	B	35

【区分】家庭・地域との連携

学校運営協議会の設置（コミュニティ・スクール化）	〈学校教育課〉	B	36
教育委員懇談会	〈教育総務課〉	A	36

事業名	〈担当所属名〉	評価	ページ
生徒地域貢献活動補助事業	〈学校教育課〉	B	36
園と家庭のかけはし事業	〈就学前教育課〉	A	37
土曜授業の実施	〈学校教育課〉	A	37

Ⅲ. 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興

【区分】生涯学習の推進

生涯学習人材バンク	〈社会教育課〉	B	38
生涯学習施策推進事業	〈社会教育課〉	B	38
まちづくり出前講座	〈社会教育課〉	A	38

【区分】人権教育の推進

人権教育推進事業	〈社会教育課〉	B	39
----------	---------	---	----

【区分】青少年健全育成活動の推進

補導活動の推進	〈社会教育課〉	A	40
広報啓発活動と関係機関との連携	〈社会教育課〉	A	40
環境浄化活動	〈社会教育課〉	B	41
不審者対策	〈社会教育課〉	B	41

【区分】スポーツの推進

総合型地域スポーツクラブ育成事業	〈社会教育課〉	B	42
スポーツ指導者研修会開催事業	〈社会教育課〉	B	42
競技スポーツ推進事業	〈社会教育課〉	B	42
トップアスリート招へい事業	〈社会教育課〉	A	43
スポーツ施策推進事業	〈社会教育課〉	A	43
地域課題に対応した障害者スポーツ実施環境整備事業	〈社会教育課〉	A	44

【区分】地域文化の振興

玉野美術秀作展事業	〈社会教育課〉	A	45
市民コンサート開催事業	〈社会教育課〉	A	46
文化・スポーツ顕彰事業	〈社会教育課〉	A	46
芸術文化振興助成事業	〈社会教育課〉	A	47
短歌「西行賞」表彰事業	〈社会教育課〉	A	47
文化財保護・整備事業	〈社会教育課〉	A	48
トップアーティスト招へい事業	〈社会教育課〉	A	48

令和元年度主要事業の点検・評価

I. 心かよいあう家庭・地域社会の教育力の充実

【区分】家庭・地域社会の教育力の充実

※ 決算額二段書き下段は、決算額のうち交付金等の額

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
地域子ども楽級 推進事業 (県)	放課後や週末に公民館等を利用し、小学生が地域のボランティア指導者や協力者のもとで、遊び・ものづくり・体験学習・世代間交流・学習などの活動をするための支援を行う。 また、小学校の余裕教室等で、毎月1～2回程度、平日の放課後に「おさらい会」を実施し、主に希望する3年生を対象に、算数の基礎基本の習得の学習支援を行う。 (全小学校区)	B	《成果》 学校や家庭だけでは体験することのできない様々な活動を通して、子どもたちは社会性や自主性ととも、感謝の気持ちや思いやりの心を身につけ、地域に愛着をもつようになってきている。 また、児童の減少に伴い、参加児童延べ人数は減少傾向にあるが、地域のボランティア指導者や協力者を含めた地域の教育力の向上とともに、生涯学習の視点からも、学びが循環する地域社会の形成の一助となっている。 ○子ども楽級（全14楽級） ・年間開催日数 1,169回 ・参加児童延べ人数 4,479人 ・協力者延べ人数 3,755人 ○おさらい会（全13おさらい会） ・年間開催日数 155回 ・参加児童延べ人数 2,740人 ・協力者延べ人数 1,156人 《課題》 地域コーディネーター等の後継者確保が課題である。今後、地域学校協働本部との関わりについてより具体的な検討の必要がある。	5,331 (県)3,553
〈社会教育課〉				

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
家庭教育支援事業 (県)	「親学」啓発パンフレットなど子育てに関する学習情報を提供することにより、家庭教育の支援体制を強化する。 また、保育園・認定こども園・幼稚園及び全小・中学校において、参観日等の機会を利用し、保護者を対象とした講演会やワークショップを開催するなど、子どもの健全育成と家庭教育支援に関する取組を実施する。	A	《成果》 保護者に向けて、子どもの成長段階に応じた家庭の役割を認識する講演会やワークショップや交流会を39回開催。参加人数1,241人。アンケートでは、参加して良かった。今後とも参加したい。との感想が大半を占めている。 ----- 《課題》 就労等で多忙な保護者に対し、家庭の大切さを意識できる機会の確保や、保護者が学び合う機会づくりが課題である。	203 (県) 133
地域学校協働本部事業 (県)	地域全体で学校教育を支援するため、コーディネーターを中心とした学校と地域との連携体制を構築する。 (田井幼・和田幼・田井小・築港小・宇野小・玉小・玉原小・日比小・第二日比小・山田小・後閑小・荘内小・八浜小・大崎小・鉾立小・胸上小・玉中)	B	《成果》 令和元年度には、2幼稚園、14小学校、1中学校で事業を実施した。年間を通じて学校園に地域ボランティア約800名が関わり、子どもたちに学力の向上、安全な学校生活、豊かな経験の場を提供している。学校が地域との連携を深め、協働して教育活動を実施している。 地域資源を理解することにより、子どもたちが、地元を知り、愛着心を持つことにも寄与していると思われる。 ----- 《課題》 ボランティアや協働活動推進員の後継者不足が課題である。今後はコミュニティ・スクールとの連携による事業展開と活動内容の充実が必要である。	1,167 (県) 752
〈社会教育課〉				

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
玉野市子ども会 連絡協議会研修 事業 〈社会教育課〉	協議会の研修を通して、子どもたちのリーダーとしての自覚、集団でのルールの体得を促すとともに、親子・他校の子どもとの交流を図る。	B	《成果》 令和元年度は、54人（子ども25人、育成者29人）の登録があり、各単位子ども会での活動の他、合同での体験活動等も行った。これにより、リーダーとしての自覚や、集団でのルールの体得を図ることができた。 《課題》 単位子ども会の減少に伴う、協議会加盟子ども会の減少が課題である。広報活動の工夫や、研修内容の充実を図るとともに、他市町との情報交換や連携について検討する。	54
たまのスケジュール ガイドプログラム 〈社会教育課〉	玉野市の中高生が国際理解・地方創生等に関心を持ち、主体性やコミュニケーション力、国際性等、これからの社会で求められる力を身に付けることができるよう、留学生を含む大学生の協力を得て実践する「育成プログラム」や宇野港や宇野駅での「実践プログラム」などを実施する。	A	《成果》 令和元年度は、各プログラムに延べ約250名の生徒が参加した。活動を通して、地域とのつながりを意識できるようになり、学校・学年を越えたつながりや、国際感覚を養うきっかけとなるなど、様々な面で成果が見られた。 《課題》 次回以降の芸術祭に向け、市内の中高生が主体的に地方創生や国際理解について考える機会をもつことができるよう、発展的な活動の実施を検討する。	300 (県)
成人式開催事業 〈社会教育課〉	新成人を招き、祝賀交歓のうちに大人としての自覚と市民意識を高め、社会に貢献し力強く生きていくよう激励する。	B	《成果》 令和2年は新成人423人が参加した。（参加66.4%）新成人が企画運営に携わる実行委員会形式で行った第2部では、抽選会、恩師のビデオレター上映を実施するとともにお互いに祝福、激励することで、社会の一員としての自覚と責任を持つ場として成果があった。 《課題》 近年、実行委員会で積極的に活動する新成人が少数であり、実行委員の関心や意欲を喚起するための方策を検討している。	1,634

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
たまの地域人づくり大学	地域活動に役立つ知識・技術等を習得するための各種講座を実施し、地域において活躍できる人材を育成する。	A	《成果》 平成 22 年度に開講し、10 年目となる令和元年度は 9 講座、2 記念講演を実施した。一昨年より新たに、本市独自の地域資源の一つであるアートと、歴史を活かした他世代交流ができるまちづくりを目指す人材の育成を目的に、連続講座を開講した。地域を支えるための身近な課題について、座学や体験等を通じた知識を習得する場となった。 また、受講生が交流サロンの運営や観光ボランティアとして活動を継続しており、本学での学びの成果を地域で活かし、地域づくりに繋げている。 《課題》 今後も地域活動に生かせる講座、地域づくりに繋がる講座など、内容の充実に努める。	1,307
〈社会教育課〉				
児童館管理運営事業	児童に健全な遊びとその場を提供して、心身の健康を増進し情操を豊かにする。また「児童館だより」の発行など、情報発信を行う。	B	《成果》 乳幼児から中学生までを対象に、遊びや体験学習の拠点として様々なイベントを開催した。来館者数 10,685 人。ボランティア大人 131 人、子ども 197 人。街頭募金体験や児童館大掃除、児童館まつりの準備や手伝い等を行った。 《課題》 遊びを通じての子どもの育成、子育て家庭支援地域活動の促進などの事業内容の充実が課題である。	8,377
〈社会教育課〉				(県) 1,926

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
子育て支援情報の提供	子育て支援センター、各保育所・幼稚園で園庭開放を行い、子育てに関する相談を随時受け付ける。また、子育てメールマガジンを活用して「子育て支援センターだより」「児童館だより」等の情報を毎週金曜日に配信する。	B	《成果》 保育園等を利用していない保護者の子育て支援の拠点施設として、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することに貢献できた。 子育て支援センター主催のイベント（いっしょにあそぼ！、おやつ講座、クリスマス会など）を複数回開催し、親子間の交流や子育てに関する情報交換が行える場を設け、多くの来場者を得た。 また、毎週金曜日に、子育て世帯の保護者等を対象に、子育て関連情報をメール配信することで、間接的に子育て支援を図ることができた。 ＜園庭開放来場組数＞ 令和元年度 2,150組 平成30年度 2,607組 ＜イベント来場組数＞ 令和元年度 399組 平成30年度 477組 ＜メールマガジン登録者数＞ 令和元年度 1,053人 平成30年度 958人 《課題》 多種多様なイベントの開催に向け、調査・研究を進めることが求められる。 また、メールマガジン受信者が必要とする情報の提供を目指し、配信内容について精査する必要がある。	33,001 (県)21,058
＜就学前教育課＞				

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
一時預かり事業の実施	冠婚葬祭・仕事などの緊急時に、あらかじめ登録した乳幼児(保育園児以外)の一時預かり事業を実施する。(玉原認定こども園・サンマリン認定こども園・築港ちどり保育園・槌ヶ原ちどり保育園)。 また、認定こども園(短時間部)及び、幼稚園で、幼稚園型の一時預かり事業を実施する。	B	《成果》 保育園等を利用していない家庭(一般型)や、市内の全認定こども園6か所と、全幼稚園6か所の教育利用している家庭(幼稚園型)を対象に、突発的な事情や社会参加などにより、一時的に家庭で保育が困難な子どもを保育し、保護者の心理的・身体的負担を軽減することにも貢献することができた。 ＜実施施設(一般型)＞ ・玉原認定こども園 ・サンマリン認定こども園 ・築港ちどり保育園 ・槌ヶ原ちどり保育園 ＜利用者数(一般型)＞ 令和元年度 4,138人 平成30年度 4,484人 ＜利用者数(幼稚園型)＞ 令和元年度 ・幼稚園(6園) 255人 ・認定こども園(6園) 270人 平成30年度 ・幼稚園(6園) 226人 ・認定こども園(4園) 449人 《課題》 利用希望者が問い合わせをしなくてもすむよう、チラシ、パンフレット等を更新し、事業内容のほか、対象者や利用制限等を分かりやすく周知する必要がある。 また、幼稚園型の利用においては、単に需要がないのか、制度設計の問題かを見極め、必要に応じて制度の見直しをしていく必要がある。	14,988 (県)7,530
＜就学前教育課＞				

Ⅱ. 心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進

【区分】心と体の育成

※ 決算額二段書き下段は、決算額のうち交付金等の額

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
スクールカウンセラー配置事業 (国・県・市) 〈学校教育課〉	全小中学校及び市立高等学校へスクールカウンセラーを、全保育所・こども園・幼稚園には保育カウンセラーを派遣し、児童生徒・保護者及び教職員の支援を行う。 また、市内教育相談体制の強化のため、こども未来づくりネットワーク連絡協議会、スクールカウンセラー連絡協議会を開催する。(市事業による配置校園：就学前全園・小学校7校、高等学校2校)	B	《成果》 スクールカウンセラーを積極的に活用し、児童・生徒及び保護者のカウンセリング等を通して、学校不適応等の問題改善に成果をあげた。 教員とのコンサルテーション、校内研修やケース会議を通して問題解決や教員の資質向上に成果があった。 就学前における子育てや発達相談等に取り組むことで保護者の支援に成果を上げた。不登校児童生徒数の改善には至っていないが、個々の事案の改善に成果を上げた。 ----- 《課題》 学校園間で活用に若干の差があるため、学校園に対する有効な活用事例の紹介や広報活動、カウンセリングの必要がある保護者への働きかけを行う必要がある。	1,275
スクールソーシャルワーカー配置事業(国・県) 就学前からのスクールソーシャルワーカー活用調査・研究事業(県) 〈学校教育課〉	多様な課題のある児童生徒の課題解決のために福祉の視点で家庭環境の改善や関係機関への働きかけや支援ネットワークの調整等を行うスクールソーシャルワーカーを配置する。 義務教育段階だけでなく、就学前の幼児への福祉的支援を行うスクールソーシャルワーカーも配置し、活性化を推進する。	B	《成果》 虐待の見守り家庭の児童生徒や発達障害等による集団不適応のある児童生徒の家庭環境改善のための取組を進め、関係機関との連携を強化しながら支援を進めた。 ----- 《課題》 就学前の家庭に対しては、これまで実績がなかったため、家庭へ支援に入っていくきっかけづくりが困難であった。少しずつ実績を積み上げていく必要がある。	1,889 (県)

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
中学校キャリア教育推進事業 〈学校教育課〉	キャリア教育推進の中で中学生の地域における職場体験活動の充実を図り、望ましい職業観や勤労観を育て、自分の将来に夢を持ちながら、主体的に進路選択や決定ができる力を育成する。	A	《成果》 地域の各事業所との連携により、有意義な職場体験活動が実施でき、生徒が自分の夢を持ち、主体的に進路を考えるきっかけづくりができた。 また、中学生が小学校へ赴き、体験発表会をするなど、キャリア教育の取組が発展した。 《課題》 職場体験活動の内容の充実を各事業所に依頼していく必要がある。 キャリア教育のカリキュラムを中学校区一貫教育の中で一層明確に位置付けていく必要がある。	96
生徒指導体制の充実 (玉野市教育支援体制の推進) 〈学校教育課〉	特別支援教育の視点に立ち、幼児期からの継続的な指導・支援を行う本市独自の「教育支援体制」を推進し、子どもたちの健全育成に取り組む。 また、いじめ防止基本方針に基づいたいじめを生まない学校づくり、不登校を生まない学校づくりを推進する。	B	《成果》 教育支援体制の推進により、各校の課題のある児童生徒のためのケース会等が活性化した。 教育支援研修会や中学校の生徒指導主事連絡会等で、情報交換や特別支援教育の視点に立った指導・支援の重要性を研修することで、適切な生徒指導支援が図られた。 中学校区の連携が進んでいることで、各中学校の落ち着いた学習環境の確保が実現できている。 《課題》 小学校での特別支援教育の視点に立った対応が必要な学級が増え、担任の指導が困難となる事案が発生しているため、教員の障害に応じた対応スキルを育成する必要がある。	—

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
教育サポートセンター機能強化 調査研究事業 (県)	教育支援室に臨床心理士を増員し、訪問支援型教育相談体制を構築するとともに、訪問支援等が必要な適応指導教室在籍児童生徒への働きかけを行って自発的な通室へ繋げる等の機能強化を推進する。	A	《成果》 訪問支援型の教育相談を実施する中で、小中学生だけでなく引きこもり者の支援事例が徐々に増加し、市内のサポート体制の充実に資することができた。また、各種体験型ワークショップを開催し、不登校や引きこもり者の居場所づくりにも取り組んだ。 《課題》 委託事業終結後の単市による取組の継続を図る必要がある。	1,855 (県)
小学校不登校対策実践研究事業 (県)	市内4小学校に登校支援員を配置して、不登校に対する小学校の組織的な対応力向上を図るとともに、別室を活用した不登校の初期段階における児童や家庭への積極的な関わりや、不登校児童の学校復帰に向けた支援を行う。 (田井小・築港小・荘内小・玉原小)	B	《成果》 登校支援員配置校では、不登校児童の別室登校対応が可能となり、また、他機関との連携も進んだ。 長欠・不登校児童が出現しなかった研究校もあり、大きな成果が出ている。各校で不登校や登校しぶりが見られる児童についての情報共有を図り、「個別の支援ファイル」を作成する等して校内の支援体制の充実に図ることができた。 市内に不登校対策の取組モデルを示した。 《課題》 成果は上げているものの、不登校児童数は減少しておらず、今後も取り組みを継続していく必要がある。	3,885 (県)
〈学校教育課〉				
〈学校教育課〉				

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
夢を育む！たま のっ子育成事業	キャリア教育の充実のための研究を全小中学校で取り組み、中学校区一貫教育の柱となるキャリア教育のモデルづくりを推進する。 荘内中学校区を重点推進地域に指定し、多角的なキャリア教育に取り組み、研究成果を市内に広める。	B	《成果》 荘内中学校区では企業人との交流活動である「だっぴ」や小学校職業体験フェア等の特色ある取組が実践でき、児童生徒のキャリア発達を促すカリキュラム開発が進められた。また、そうした取組や各校での教育実践を整理して市内全体に広めるとともに、荘内中学校区の研究発表会や教員研修を実施したことで、各中学校区でキャリア教育指導計画の充実を図った。 ----- 《課題》 キャリア教育は各校のこれまでの教育実践を整理して効果的に行うものであり、教員が強く意識して取り組む必要があるため、キャリア教育の重要性を一層伝え、効果的な実践となるよう働きかけを継続する必要がある。市内企業との連携を探っていくための行政側の支援体制の構築が必要である。	—
アレルギーメール マガジンの配信	給食に含まれるアレルギー原因食品をメールマガジンにより保護者へ情報発信し、食物アレルギーに関する情報の提供に努める。	A	《成果》 登録者のニーズにあう内容を配信できた。 ----- 《課題》 今後も引き続きメール配信サービスへの登録を啓発していく必要がある。	—
〈学校教育課〉				
〈学校給食センター〉				

【区分】学力向上の推進

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
35人学級実施事業 〈学校教育課〉	小学校第3学年から第6学年において、本市独自に教員を雇用して35人学級を実施し、基本的生活習慣や学習規律・学習習慣の定着を図る。 (玉原小)	B	《成果》 35人学級の実施により、きめ細やかな指導を展開し、小学校における基本的生活習慣や学習規律、学習習慣の定着を図ることができた。 ----- 《課題》 講師不足の中で優秀な講師を確保していくことが困難である。 国や県の実施基準を満たさない35人学級対象学級が市内になくなることで事業の廃止を検討する必要がある。	5,347
小学校学力・人間力育成事業 〈学校教育課〉	小学校に非常勤講師を配置し、少人数指導やティームティーチング、専科指導を充実させることで、基礎学力の定着や落ち着いた学習環境づくりを推進し、人間力の育成を図る。	B	《成果》 各配置クラスの課題に応じて習熟度別少人数指導や取り出し指導等を行うことで、子どもたちの実態に即したきめ細やかな指導に取り組み、基礎基本の定着に成果があった。 ----- 《課題》 学級の状況に応じた指導法の工夫を行えたが、習熟度別指導については改善の余地がある。 また、現段階では学力向上に直接的な成果としては現れていない。	10,919
中学校学力・人間力育成事業 〈学校教育課〉	中学校で少人数指導やTT指導、個別指導等を実施するため、市費による非常勤講師を配置し、生徒の学力向上や落ち着いた学習環境づくりを推進し、人間力の育成を図る。	B	《成果》 少人数指導等の指導法の工夫により、生徒の実態に応じたきめ細やかな指導を実施することができ、落ち着いた学習環境の確保等に成果があった。 ----- 《課題》 生徒指導上の成果はあるが、少人数指導の一層の充実により学力向上の数値的成果は一層伸びるのではないかとと思われる。	4,843

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
グローバル人材 育成事業 〈学校教育課〉	外国語指導助手（ＡＬＴ） による教育活動の支援を実施 し、学校の英語教育及び外国 語活動・国際理解教育を推進 する。	B	《成果》 小学校の外国語活動にＡＬＴを派 遣し、各校のプランニングシートに 基づいた質の高い指導を行い、生き た英語に触れることで、児童生徒の 英語への関心を高めるとともに英語 力育成に成果があった。 《課題》 小学校外国語活動等が活性化する 中で、派遣回数を増やしたいが財政 上困難である。	5,120
英語力向上ＩＣ Ｔ教材活用事業 (県)	小学校６年生の英語授業に おいて、オンライン上での外 国人との交流体験を実施し、 英語を使うことに喜びを感じ る児童を育成する。	A	《成果》 オンライン英会話を実施すること で児童は英語を話すことに積極的に 取り組み、外国人との交流に充実感 を味わっていた。 《課題》 今後、オンライン学習が活性化し ていく中で、本事業は非常に有効で あり、拡大を検討していく必要があ る。	434 (県)
学力向上プラン 作成と実践 〈学校教育課〉	全国・岡山県学力・学習状 況調査等を用いて子どもたち の実態を的確に把握し、各校 において学力向上プランを作 成するとともに、作成したプ ランに沿って、継続的に様々 な取組を推進し学力向上を図 る。	B	《成果》 各校が、作成した学力向上プラン に基づき学力向上のための計画的・ 継続的な取り組みを行い、授業改善 や補充学習、家庭学習への啓発等の 多角的な学力向上の取組の改善を図 ることができた。 《課題》 学力向上のための取組は充実し、 落ち着いた学習環境は実現したもの の、学力状況調査での数値には、学 校間格差等の課題があり、今後さら に取組内容の検討が必要である。	—

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
中学校区研究指定事業 〈学校教育課〉	中学校区一貫教育の充実を図るとともに、教員の資質を向上し、授業力を高めるため、中学校区を指定して、地域の課題に応じた教科領域の研究に取り組み、市内全体に研究成果を広める。 (荘内中学校区実施)	A	《成果》 各校園において、子どもたちの実態に合わせて研究に取り組み、授業公開や研究協議を通して、その成果を市内の教員に広めることができ、本市教育の充実に成果を上げた。 荘内中学校区ではキャリア教育の実践研究を進め、研究発表会を開催した。 ----- 《課題》 有名な講師を学校へ招聘する予算確保が必要である。	—

【区分】特別支援教育の充実

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
学校サポートスタッフ配置事業 〈学校教育課〉	教師業務のアシストや部活動指導への支援、障害や虐待、その他様々な課題のある幼児・児童生徒への支援等、様々な教師業務をサポートするためのスタッフを配置し、適切な指導支援の充実と教職員の勤務負担軽減に取り組む。	A	《成果》 発達障害等様々な課題のある幼児・児童・生徒に対して支援者を配置することで、生活や学習の場面において、きめ細やかな支援を実施することができた。 教師業務をサポートすることで教職員の勤務負担軽減に繋がった。 ----- 《課題》 児童生徒への支援業務と教師業務アシスト業務を必要に応じてマネジメントし、効果的なサポートスタッフの活用が求められるところであり、今後更に成果を上げるためには、管理職による効果的なマネジメントを行う必要がある。	22,395

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
特別支援教育ネットワーク連絡協議会 〈学校教育課〉	障害のある幼児・児童生徒の社会的自立を目指して、早期からの適切な支援を行うとともに、中学校区を単位とした地域支援ネットワーク体制の充実を図る。	B	《成果》 各校園で継続的な支援のための「個別の支援ファイル」を作成するとともに、各中学校区で合同研修会を設けたり、支援の充実のための情報共有に取り組み、体制整備に資することができた。 ----- 《課題》 県の広域人事交流の方針により、教員の市外への異動が加速化するため、人が替わっても継続できる中学校区組織とするために、適切な就学指導や継続的な支援のための連携等をさらに充実させる必要がある。	—
特別支援教育サポートチームの派遣 〈学校教育課〉	障害のある幼児・児童生徒に対して障害の特性に応じた適切な指導を行うことができるよう、専門家等で組織するサポートチームを編成し、各校・園に対する支援訪問を行い、特別支援教育に係る様々な課題の解決を図る。	B	《成果》 学校園の要請に応じ、専門家チームが支援訪問を行い、ケース会議への助言や課題分析等を通して特別支援教育に係る課題解決を図った。 ----- 《課題》 大きな課題が減少していることもあるが、支援訪問回数が微減している。就学前園との連携を一層深めるとともに、チーム派遣の活性化を進めたい。	—
授業のユニバーサルデザインの推進 〈学校教育課〉	特別支援教育の視点に立った授業改善を推進し、全ての子どもが「わかる・できる」を実感できる授業の構築に取り組む。	B	《成果》 学力向上研修会や、教育支援研修会等の各種研修会において、授業のユニバーサルデザインによる授業改善のポイントについて研修し、全ての子どもが「わかる・できる」授業づくりの取組を推進するとともに、指導主事が学校を積極的に訪問し、授業改善について指導・助言を行い、授業実践力の向上を図ることができた。市内全体で定着は図られている。 ----- 《課題》 県の広域人事交流の方針により、教員の市外への人事異動が加速化するため、今後、人が替わっても継続できる授業改善の方針の定着を図る必要がある。	—

【区分】保育士・教員等の指導力向上

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
保育協議会研修 会の実施	保育士等の職種別に専門的な研修を実施し、保育に必要な知識・技能の習得を図り、職員の資質向上を図る。	A	《成果》 玉野市保育協議会に委託して、様々な研修を実施した。 令和元年度は、以下の研修を実施し、保育園の運営に必要な多種多様な分野での知見を深め、全体のレベルアップに努めることができた。 ・豊かな人間力を育む保育・教育の実践 ・赤ちゃん学と乳児保育実践をつなぐ ・オアシスを使ったアレンジメント ・保育で使える楽しいマジック ・保育所保育指針の概要 ・災害時の食中毒予防について ・給食・おやつの新メニューについて ・障害児保育について～専門家の活用による子どもの問題行動への対応～ ・子どもの主体性が育つ保育をめざして～発達をとらえたわくわくする環境を探る～ 他 ----- 《課題》 保育所の運営上、ローテーションにより勤務が割り振られているため、研修日に勤務が割り振られていると、研修参加を希望しても参加できない場合がある。	100
＜就学前教育課＞				

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
幼児教育推進体制の充実・活用強化事業 (国) <就学前教育課>	新幼稚園教育要領や新保育所保育指針等を踏まえ、就学前教育推進体制の充実・就学前教育の質の充実等を図るため、就学前教育関係の研修、園訪問等の充実、若手職員等に対する支援・指導参考資料等の充実、園小連携の取組の推進等に関する取組を行う。	A	<<成果>> 玉野市就学前教育センターが中心となり、市内全ての幼保施設（私立を含む。）へ訪問指導を複数回にわたり行い、質の充実に努めることができた。 また、就学前教育に関する全国の先進地（東京都北区、横浜市、鳴門教育大学等）への訪問を通じ、質向上のための情報を入手したほか、関係を深めることができた。 ----- <<課題>> 園内、園間における質の充実に関する取組については手法等を得ることができたため、次のステップとして、園小連携に関する取組を充実させていく必要がある。	8,256 (国)4,015
各種研修会の実施 <学校教育課>	若手教員指導力向上研修会、教育課程研修会、教育支援研修会等を実施し、幼・小・中・高等学校の教員を対象に指導力や企画運営力を育成するための中堅教員研修会を実施する。	B	<<成果>> 市教委が主催し、様々な研修会を実施して、教職員の資質向上に努めた。玉野の教育施策の周知徹底に成果があった。 ----- <<課題>> 教職員の負担軽減のため、研修会の精選を進めていく必要がある。	—

【区分】教育環境の整備

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
教職員の働き方 改革推進（教職 員ワークライフ バランス適正化 プロジェクト） （市） 学校現場におけ る業務改善加速 事業 （国・県） 〈学校教育課〉	玉野市教職員働き方改革推 進プランに基づきながら、学 校行事の精選や校内業務の効 率化、教育委員会からの依頼 等の見直しや多角的な学校に おける業務改善に取り組むと ともに、ワークライフバラン スを意識した働き方に対する 教職員の意識の醸成、教育の 質を高める本来業務の徹底を 推進する。 （市内全校で推進、モデル地 域：荘内中学区）	A	《成果》 市内全体で教職員の働き方改革は大きく推進された。部活動の削減や学校行事の精選、業務内容の効率化等が積極的に行われた。 また、P T A活動の整理も進み、実際の時間外勤務時間の状況も大幅に改善された。 特に、研究校である荘内中学校区では、取組内容を県全体に発表し、モデル校としての実績を上げた。 《課題》 令和2年度からは法的にも時間外勤務時間の上限を遵守していくことが求められているため、さらに業務改善を進めていく必要がある。 特に、部活動の効率化、外部人材への指導の移行等を検討していく必要がある。	1,878 (県)
学校事務の共同 実施 〈学校教育課〉	学校事務の共同実施により、情報交換や相互支援を行い、より一層正確で質の高い学校事務の実施を推進するとともに学校事務職員の専門性を生かした学校運営への参画意識を高め、学校事務職員の人材育成を図る。	A	《成果》 共同実施協議会や各共同実施グループの定例会の充実により運営や取り組み内容について充実を図ることができた。 「学校運営への積極的な参画」を研究テーマに設定して取り組むことで、学校事務職員の学校運営への参画意識が向上し、効果的な業務遂行に繋がっている。 《課題》 学校事務の急激な若返りにより、共同実施を活用した人材育成の取組が必要である。 学校事務職員の学校運営への参画意識を一層高め、校務を整理していく必要がある。	—

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
中学校区一貫教育の充実 〈学校教育課〉	中学校区内の小・中学校が、行動連携を図り、学力向上や規範意識の醸成等について継続的・計画的な指導を行い、子どもたちの健全育成に努めるとともに、就学前教育保育を含めた中学校区一貫教育充実に向け、キャリア教育と学力向上を柱として取組を進める。	A	《成果》 中学校区内の小・中学校の教員が相互に授業参観し、共同で研究協議を行うことで、発達段階を踏まえた系統的な学習指導等に取り組むとともに、中学校区の生活心得による行動連携の充実を図りながら、地域の子どもを連携して育成する機運が醸成している。 また、園小接続プログラムの実施により、段差のない接続ができています。 《課題》 今後、生徒指導・特別支援教育上の課題解決や学力向上・キャリア教育の推進等について連携をさらに推進し、中学校区一貫教育の一層の充実を図っていく必要がある。	—

【区分】安全・安心の確保

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
地域パトロール隊	小学校を単位とする地域住民や関係機関のボランティアによるパトロール隊の協力を得て、子どもたちの安全の確保を図る。	A	《成果》 小学生の登下校時の安全を守るため、各小学校区において老人会やコミュニティの協力を得て子どもたちの安全確保を図ることができた。 登下校時の不審者遭遇等の事案はなかった。	—
〈学校教育課〉			《課題》 地域の後継者不足が深刻化している。	

【区分】市立高校の充実

事業名	内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
市立高校の魅力づくり 〈学校教育課〉	中学校卒業生数が減少していく中で、キャリア教育を柱とした市立高校の魅力づくりを推進し、今後の在り方を検討する。玉野商工高校では、商業教育と工業教育の共同学習等を推進し、玉野備南高校では学び直しができる学校としての体制を整備する。	B	《成果》 市立高校在り方検討会議からの意見を受け、各校では学校の目標を整理し、今後の方向性について協議を続けた。各校とも市立高校の使命である地域に活性化に寄与する人材育成を目指し、取組を検討している。 商工高校では、地域に貢献する人材育成のための教育プロセス「CoCoLoの教育」を構築し、備南高校では学び直しのための学校設定科目を構築した。 《課題》 商工高校では、中学校卒業生数の減少が続く中、今後の定員確保が課題である。 備南高校では通級指導のための加配教員を要望していく必要がある。	—
学校運営協議会設置・拡充に向けた調査研究事業 〈学校教育課〉	玉野商工高校の学校運営協議会設置によるコミュニティスクール化を推進し、地域や企業との連携による魅力ある高校教育の創造や地域社会との持続可能な連携・協働体制を構築する。	B	《成果》 商工高校ではコミュニティスクール化を実現し、市内企業が参加する学校運営協議会で学校の使命や企業連携教育の必要性等を働きかけ、学校と企業が連携して地域人材を育成する機運を醸成した。 《課題》 今後、商業と工業の融合教育や企業連携教育を取り入れた教育課程を実現していく必要がある。	928 (国)

【区分】スポーツ・文化芸術活動の振興

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
競技スポーツ振興事業 〈学校教育課〉	競技力の向上及び競技スポーツの推進を図るため、市立の中・高等学校の運動部活動に所属し、県内予選会等を経て中国大会以上の規模の大会に出場する団体・個人に対して、激励会を開催し、激励金を支給する。	B	《成果》 平成30年度は、各種競技の中国・全国大会に出場した25名の生徒に激励金を支給した。 ----- 《課題》 学校に対して、申請漏れがないよう引き続き広報する必要がある。	60
玉野市立学校文化・芸術活動等育成事業 〈学校教育課〉	玉野市立学校において、文化・芸術活動等に積極的に取り組む個人・団体の育成を図るため、祝い金を支給する。	B	《成果》 平成30年度は3件の激励会を開催した。参加した生徒の活動意欲を高め、学校における文化芸術活動の活性化を図ることができた。 対象の商工高校からは次への意欲が高まるという評価を得た。また、日比中学校吹奏楽部は、新設の全国大会に初出場した。 ----- 《課題》 学校に対して、申請漏れがないよう引き続き広報する必要がある。	10

【区分】家庭・地域との連携

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
学校運営協議会の設置 (コミュニティ・スクール化) 〈学校教育課〉	コミュニティ・スクール制度を推進し、「地域とともにある学校」として、保護者及び地域住民の学校運営への参画を進め、学校・家庭・地域社会の役割と責任を明確にしながら、教育力を相互に高め、共に連携・協働する体制を構築する。	B	《成果》 備南高校以外の小・中・高校で学校運営協議会の設置を実現した。地域に対して学校の教育目標や方針、課題等を説明し、子どもの教育に対する学校と地域の役割を共通理解した。 《課題》 今後、具体的に学校と地域が連携して学校教育を盛り上げ、人材育成に取り組む実績を積み上げていく必要がある。	—
教育委員懇談会 〈教育総務課〉	地域住民の多様な意向や、保護者の教育に対する期待をよりの確に把握する方法として、教育委員と関係団体等とがテーマに沿った懇談を行い、教育行政に反映させる。	A	《成果》 玉野スポーツネットワークJV職員、総合政策課職員、小学校教頭、教諭、学校サポートスタッフなど、3回13人から生の声を聞き、パラスポーツ振興、キャリア教育、特別支援教育などの施策立案の一助とした。 《課題》 様々な立場から多角的な意見を伺えるよう、引き続き現場の声や意見の掌握に努めたい。	—
生徒地域貢献活動補助事業 〈学校教育課〉	市立高校がキャリア教育の一環として実施する地域貢献活動等の活性化を図る。	B	《成果》 地域でのボランティア活動に積極的に取り組み、学校の信頼を高めるとともに、地域おこしに貢献した。 また、「キッズビジネスタウンたまの」には多数の小学生の応募・参加があり、小学生の職業観等の育成を図ることができた。 《課題》 学校規模が限られているため、希望する小学生全員を受け入れることが困難である。	300

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
園と家庭のかけ はし事業 〈就学前教育課〉	市内の保育園・認定こども 園・幼稚園に通う３歳児から ５歳児の幼児がいる家庭に 「かけはしノート」を配布し、 幼児の成長の姿を記録して園 と家庭が信頼関係を構築し、 協力して子育てに取り組む。	A	《成果》 保育者の幼児理解と、保護者との 連携・信頼関係を深める成果があ り、保護者の子育てへの支援に効果 的であった。 ----- 《課題》 教員に過度な負担がかからないよう、 事業に改善を加えていく必要がある。	176
土曜授業の実施 〈学校教育課〉	市内の全小中学校において 年間３回以上、土曜日に授業 参観や学校行事等を実施し、 保護者や地域に対して学校教 育活動の理解を図り、開かれ た学校づくりを推進する。	A	《成果》 特色ある教育活動を計画的に実施 することで、児童生徒が保護者や地 域住民と共に学ぶ場を確保するとと もに、学校の取組を効果的に紹介 し、保護者、地域の理解を図れた。 また、授業参観や懇談会、講演会 等を土曜日に実施することで、全体 の参加者数、特に父親が増加した。 ----- 《課題》 少年団や地域の行事、中学校区内の 他校等との日程調整が困難である。	—

Ⅲ. 生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興

【区分】生涯学習の推進

※ 決算額二段書き下段は、決算額のうち交付金等の額

事業名	内 容	評価	成 果 と 課 題	決算額 (千円)
生涯学習人材バンク 〈社会教育課〉	文化・芸術・レクリエーション活動等において、優れた知識・技能を有している人を指導者として登録してもらい、市民の多様な学習活動を支援するとともに、人材の有効な活用を図る。	B	《成果》 市民の学習活動を支援することで生涯学習活動を推進している。 ----- 《課題》 講師登録内容の充実を図るとともに、市民の学習ニーズに合致した体制づくりに努める。	—
生涯学習施策推進事業 〈社会教育課〉	平成26年度に策定した「第2次玉野市生涯学習基本計画」に基づき、生涯学習施策を効果的に推進し、人づくり・地域づくりなどを図る。	B	《成果》 関係部署及び教育機関を含めて全庁あげて、市民が主体的に学習活動に取り組めるよう支援した。受講ニーズの把握に努め、問い合わせの多い講座を検討及び地域コミュニティと連携しながらの事業も充実させ、学習意欲の向上を図った。 ----- 《課題》 「まなぶ」「いかす」「つながる」「ひろがる」の4つの方針を関連づけて、来年度に向けて、見直しや実施効果を高める改善への取組を十分に進める必要がある。	—
まちづくり出前講座 〈社会教育課〉	市職員や市民ボランティアが講師となり、「出前」をして講演を行い、市民の自主的な生涯学習やまちづくりの活動を支援する。	A	《成果》 市民のニーズを把握し、現代社会に合ったメニューを提供するため、毎年メニューを見直している。 講座受講数は、29年度392件、30年度310件、元年度243件と減少しているが、1講座あたりの受講者数は増加しているものが多数ある。受講者の年齢等に合わせ臨機応変に講義内容にアレンジが加えられている。 ----- 《課題》 市民ニーズが高い、「救急」や「防災」講座の受講数は多いが、他講座との差が大きい。広報活動や講座提供のない課への呼びかけ等により、より充実したメニューの提供に努める。 また、他の講座事業との組み合わせやスリム化なども検討していく。	—

【区分】人権教育の推進

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
人権教育推進事業	様々な人権問題に関する講座を開設し、広く市民に学習機会を提供するとともに、市内保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校のPTAを対象とした学習を行い、広く人権問題の解決に資する。 また、保育所・認定こども園・幼稚園の保護者を対象とした就学前人権研修会を開催し、人権意識を高める教育環境の充実を図る。	B	《成果》 人権教育推進委員会、小・中学校PTA人権教育研修会、就学前人権教育研修会、人権教育課題別研修講座(全5回)等を開催し、人権問題についての学習機会を提供した。人権教育課題別研修講座では、「性的少数者」や「アンガーマネジメント」など、より幅広い人権課題を取り上げ、広く市民に啓発を行った。 小・中学校PTA人権教育研修会、就学前人権教育研修会では、「インターネット」や「親子のコミュニケーション」について取り上げ、子育てについて現在話題になっている課題や参加者のニーズに合わせた研修を行った。 《課題》 各研修会や研修講座のアンケートの結果をもとに市民のニーズを知るとともに、ワークショップ形式での研修や体験的な内容の研修等、内容や研修形態を工夫しながら参加者を増やし、人権意識の高揚を図っていくことが課題である。	142
〈社会教育課〉				

【区分】青少年健全育成活動の推進

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
補導活動の推進 〈社会教育課〉	街頭補導・特別補導・地区補導等に積極的に取り組み、問題行動の把握に努め、青少年の健全育成を図る。	A	《成果》 補導は、1年を通して計212回実施し、育成センター職員・健全育成指導員・教職員・PTA等延べ800人が参加した。得た情報は学校等関係機関に連絡し、対応した。大きな問題はなく、青少年の健全育成とりわけ非行の抑止力として、非行防止に成果があったと思われる。 ----- 《課題》 少年非行率において、岡山県は全国ワースト順位で下位の状態が続いているが、きめ細かい見守りの成果が見られ、非行率については年々低くなっている。万引き防止や自転車の鍵かけ運動などに重点を置いて活動しているが、再犯率が高い傾向が見られ、初発非行抑止の取り組みと、非行が起これにくい地域づくりが求められる。	—
広報啓発活動と関係機関との連携 〈社会教育課〉	機関誌「みちびき」を発行し、青少年の健全育成や非行防止の啓発に努める。また、青少年健全育成指導員と小学校・中学校及び高等学校を訪問したり、他機関と情報共有を積極的に行ったりしながら連携を深め、実態把握と問題解決を図る。	A	《成果》 「みちびき」は、4月と奇数月の年7回、各1,290部発行し、学校、園、警察、行政機関等の関係団体に配布している。「市内の補導状況」「規範意識の確立」「問題行動への対応」「スマートフォンやインターネットの適切な利用」などの記事を掲載し、健全育成に対する理解や関心を高めることができた。また、市内の小・中・高等学校を訪問し、情報交換を行うことで問題点やその対応について共通理解を図ることができた。 ----- 《課題》 これまでの取組を継続するとともに、今後も学校や地域と連携しながらルールやマナーを守る機運の醸成を図る必要性を感じている。	—

【区分】スポーツの推進

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
総合型地域スポーツクラブ育成事業 〈社会教育課〉	市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに携わることのできる、生涯スポーツのための環境の整備を目指す。	B	《成果》 レクセセンターで各種スポーツクラブ教室を開催することで、身近なスポーツ機会を提供しており市民のスポーツに対する理解と関心が浸透している。 《課題》 財源確保など安定的したクラブ運営が課題である。	—
スポーツ指導者研修会開催事業 〈社会教育課〉	スポーツ推進委員や体育協会指導者等の資質の向上を図り、スポーツ活動のより一層の普及・充実を図る。	B	《成果》 継続的に研修会を開催することで指導する年代に応じた適切な指導が行えるなどニーズに沿った指導ができる指導者の養成に寄与している。 《課題》 指導者の人材確保とスムーズな世代交代が図れるよう引き続きサポートが必要である。	—
競技スポーツ推進事業 〈社会教育課〉	競技スポーツに積極的に取り組むクラブ（部）等の育成と競技力の向上・推進を図るため激励金を支給する。	B	《成果》 社会体育における全国大会（相当）以上出場者（チーム）に対し、激励会を開催し、激励金を交付した。併せて、記者発表を行うことで、出場者の意識高揚及び競技のPRが図られた。申請件数は28件。 《課題》 市公式のホームページ、フェイスブックなどSNS媒体等を活用したPRは行っているが制度の周知不足は否めず、公平性の観点から引き続き周知に務める必要がある。	365

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
トップアスリート招へい事業 〈社会教育課〉	本市の競技スポーツの発展を担う人材の育成並びに生涯スポーツの振興を図ることを目的に、国内外で活躍するアスリート・指導者を招へいし、子どもたちが優れたスポーツ技術等に接する機会を広く提供する。	A	《成果》 2団体へ補助を実施し、合計410人が参加した。 招へいしたトップアスリートが、子どもたちへの個別指導等を通じて技術力の向上を図るとともに、夢や目標を持つことの大切さを教えるなど、トップレベルの選手の経験や知識を身近に触れることができる良い機会となった。 《課題》 選考会を経ての決定ではあるが、毎年申請団体が固定されている。今後は、事業の広報に努めるなど積極的なPRが必要である。 また、企業版ふるさと納税を活用した事業であるため、受益団体への周知方法等について引き続き協議・検討が必要である。	500
スポーツ施策推進事業 〈社会教育課〉	平成25年度に策定した「玉野市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ関係団体等と連携し、各種スポーツ施策を計画的に推進する。 また、「玉野市スポーツ推進審議会」を通じて、各種施策の進捗状況の検証並びに進捗管理に努める。	A	《成果》 スポーツイベントの開催支援をはじめ、スポーツクラブ教室のメニュー充実など、計画に掲げた施策の推進・充実が図れた。また、審議会は様々なスポーツ分野の代表で構成されており、毎年の進捗状況の検証では委員から率直な意見を聴取できるため、利用者ニーズや要望を掴む良い機会となっている。 《課題》 未着手の施策については、実施手法の検討や関係団体との連携を探るなど引き続き実施に向けた調整を図る必要がある。	-

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
地域課題に対応した障害者スポーツ実施環境整備事業 (国)	市民が障害者スポーツ・共生社会の理念を理解する機会の整備や、障害者が生涯にわたってスポーツ活動に取り組むことができる環境整備を図るため、レクセセンターを拠点した障害者スポーツの取組を推進する。	A	《成果》 スポーツ庁において平成30年度から実施されている「地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業」を引き続き活用し、市立体育施設と連携して本市の「たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）」にも掲げる、障害者スポーツの推進に取り組んだ。 参加者数 ・市立体育施設や地域の体育施設での障害者スポーツ普及プログラム 1回目（8/3） 33名 2回目（12/13） 16名 3回目（1/18） 67名 4回目（2/22） 20名 ・障害者福祉施設等への訪問型プログラム 1回目（7/16） 30名 2回目（9/30） 6名 ・民間スポーツ施設や協議団体と連携した障害者スポーツ普及プログラム 1回目（12/14） 60名 《課題》 本事業の浸透・障害者スポーツの普及が進みつつあるが、市及び市立体育施設と、障害福祉関係施設やスポーツ推進委員等関係者との更なる連携強化が必要である。	2,942 (国)
〈社会教育課〉				

【区分】 地域文化の振興

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
玉野美術秀作展事業	県展または中央展で入選した市内在住の作家の作品（洋画・日本画・水墨画・書道）を展示し、市民が芸術文化に触れる機会を提供する。	A	《成果》 玉野美術秀作展を開催し、本市在住作家が県展、中央展で入選以上を受賞した作品54点（洋画30点、日本画・書道24点）を展示し、多くの市民に美術に接する機会を提供し、理解を深めた。 なお、図書館・中央公民館のギャラリーが会場であるため、従来の芸術に関心のある方だけでなく、図書館利用者をはじめとする幅広い年齢層の方々に芸術を鑑賞する機会を提供することができた 展示期間：12日間 鑑賞者数延 令和元年度 1,836人 平成30年度 1,857人 平成29年度 2,017人 ----- 《課題》 受付業務を出展者自らが行っており、会期が長いため、負担が大きくなっている。また、稼働率が高いギャラリーでの利用調整が難しい状況である。	5
〈社会教育課〉				

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
市民コンサート 開催事業	市民主体の演奏会等を実施し、市民の音楽への関心を高めるとともに、市内の音楽団体の活性化を目指して事業を実施する。	A	《成果》 コンサート（無料2、入場者数延べ1,064人）を開催し、市内合唱団体や中高吹奏楽部の演奏など、多くの市民に音楽に接する機会を提供することができた。 来場者数延 令和元年度 1,064人 平成30年度 858人 平成29年度 887人	270
〈社会教育課〉			《課題》 より多くの市民に音楽に関心を持ってもらえるようコンサートの周知と内容の充実に努める。また、会場としていた施設が老朽化により閉館し、代替施設の検討が必要である。	
文化・スポーツ 顕彰事業	文化・スポーツの分野において優秀な成績を収めたり、長年にわたりその普及・振興に尽くした個人または団体を表彰し、本市の文化・スポーツの充実・発展に資する。	A	《成果》 5個人（文化2個人、スポーツ3個人）を表彰した。表彰制度は各分野で長年活動が続けている個人、団体にとって励みとなり、生涯学習の推進の一助となった。 特に令和元年度は、スポーツ部門で「功労賞」受賞があり、本市スポーツの更なる発展に大きく貢献したと言える。	183
〈社会教育課〉			《課題》 （スポーツ）競技団体からの推薦者以外で、全国大会等で優秀な成績を収めた者が本市出身者かどうかの把握が困難である。 （文化）表彰対象となる個人や団体の把握が困難であるため、今後も関係団体に推薦依頼し、各分野で活動が続けている個人、団体にとって表彰制度が活動の励みとなるように啓発する必要がある。	

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
芸術文化振興助成事業 〈社会教育課〉	市内各地に伝わる文化・芸能等の保存育成、新たな創造活動に対し、助成や支援を行う。	A	《成果》 申請のあった1団体（障害者支援施設のぞみ園）に助成金を交付し、芸術・文化活動の支援を行った。購入した画材等を活用して、巨大砂絵アートや爪楊枝アートなどの創作活動や展示活動を行い、芸術文化の振興、地域社会との交流に努めている。 ----- 《課題》 現在は再申請を可能（助成を受けてから5年間は不可）としているので、芸術文化活動を行う団体に有効に制度を活用してもらい、本市の文化振興に繋げる必要がある。	180
短歌「西行賞」表彰事業 〈社会教育課〉	全国から短歌を募集し、優れた作品に「西行賞」等を贈り、地域文化の創出と感性の薫る玉野の創造を図る。	A	《成果》 短歌を募集し、優れた作品に「西行賞」（西行賞1点、優秀賞3点、佳作6点、特別賞3点）を贈り、玉野の地域文化の創出等を図った。 なお、平成26年度から市内の高校の授業の一環として短歌の投稿に協力いただき、受賞への目標とともに短歌への関心を深めることができ、若年層への普及啓発、また投稿へ向けた特別講座も開催し、全体の投稿者数の増加に繋がっている。 （応募者：211人、304首） ----- 《課題》 全国で同様の短歌募集・表彰事業が行われており、本事業における一般投稿者数の減少が見られる。広報活動等を検討し、玉野市の観光振興等の魅力を加えた文化振興へ繋げる必要がある。	210

事業名	事業内容	評価	成果と課題	決算額 (千円)
文化財保護・整備事業	歴史講座等の開催や広報紙への市指定文化財の記事掲載など文化財の周知を行い、文化財保護の意識高揚を図る。必要に応じて、市指定文化財案内板の付け替えを行う。	A	《成果》 文化財保護委員会の開催や文化財保護研修に参加し、貴重な文化財の保護・管理に努めた。また、本市の文化や郷土の歴史を紹介する郷土資料展示コーナーや文化財強調週間イベント等を活用し、歴史や文化意識の高揚を図った。例年、新小学3年生全員に「玉野市文化財地図」を配布し、学習教材の一つとして活用し、地域の自然や歴史・文化・伝統などへの愛着と誇りをもつきっかけづくりに繋げている。 ----- 《課題》 文化財への関心を高める効果的な広報活動や、貴重な文化財の保存、整備に努めるために、専門的な知識を持った職員が必要である。 また、近年、文化財は地域振興や観光振興などに資するものとの意識が高まっており、本市における文化資源の活用及び歴史的建造物の保存保護、継承が課題である。	451
〈社会教育課〉				
トップアーティスト招へい事業	本市の芸術文化を担う人材の育成ならびに本市芸術文化の振興に資することを目的に、国内外で活躍するアーティスト・指導者等を招へいし、子ども等に優れた芸術文化に接する機会を広く提供する。	A	《成果》 1 中学校及び1 団体に補助を実施し、合計530人が参加した。生徒が興味、関心を示す事業（音楽鑑賞体験）を実施するなど、本物の芸術文化に触れるよい機会となった。 ----- 《課題》 本事業は、平成21年度の開始から10年目を迎え、事業内容の見直しを含め検討していきたい。 また、企業版ふるさと納税を活用した事業であるため、受益団体への周知方法等について協議・検討が必要である。	500
〈社会教育課〉				

令和元年度 就学前園・学校の施設整備等

主要事業	内 容	決算額 (千円)
大規模改造事業	- 小学校大規模改修工事 - 田井 体育館屋根外壁等改修 - エレベーター設置（実施設計） - 空調設備設置（実施設計・工事） ・田井、築港、宇野、玉、玉原、日比、二日比、山田、荘内、八浜、大崎、鉾立、胸上	202,479
	- 中学校大規模改修工事 - 空調設備設置（実施設計・工事） ・宇野、玉、日比、荘内、八浜	53,190
	- 幼稚園施設整備 - 宇野 保育室エアコン設置（実施設計・工事）	3,499
施設整備事業	- 小学校施設整備 - 大崎 網戸設置 - 開放廊下床改修 - 築港 廊下床改修 - 鉾立 体育館屋根改修	8,035
	- 中学校施設整備 - 日比 職員室エアコン取替	1,998
防災機能強化事業	- 小学校施設整備 - コンクリートブロック塀改修（実施設計・工事） ・田井、第二日比、日比、大崎、山田、宇野、玉	27,442
	- 保育園施設整備 - 鉾立 コンクリートブロック塀改修	3,300

令和元年度 社会教育施設の施設整備等

主要事業	内 容	決算額 (千円)
体育施設整備事業	- 総合運動公園 区分開閉器本体等修繕 - 高圧受電設備修繕	2,823
	北体育館 トイレ照明設備修繕	48

学 識 経 験 者 に よ る 意 見

■玉野市教育振興会 会長 三浦 康男

厳しい財政の中、夢に向かって歩む子どもたちの育成に向け、関係諸機関等と連携して、工夫を凝らした多くの事業を展開されていることに感謝いたします。AとBの評価がそれぞれ約半々で妥当な評価だと思います。さらなる充実を期待して、Bの評価となった事業を中心に意見を述べたいと思います。

○地域学校協働本部事業

令和元年度から「学校運営協議会」をそれぞれの学校に設置しています。地域と連携した学校づくりは時代の要請であり、成果を上げていることは評価いたします。

○成人式開催事業

近い将来の玉野市の未来を背負って立つ新成人に、成人式の企画を任せることは重要だと思います。今後もこの視点は変更せず、意義ある成人式にしてほしいと思います。

○スクールカウンセラー配置事業

不登校の児童生徒だけでなく、それを取り巻く保護者等にもカウンセリングの必要性は高まっています。今後も充実に向けて工夫してほしい。

○小・中学校学力人間力育成事業

児童生徒数の減少は、人間関係が固定されるなどのマイナス面もあるが、少人数だから出来るプラスの面を捉え、工夫して少人数指導の良さを生かしてほしい。

○夢を育む！たまのっ子育成事業

社会環境は、将来大きく変化すると考えられ、社会人との交流活動や職業体験は、夢に向かって歩む子どもの育成に大変有意義なものです。さらなる充実を期待しています。

○中学校区研究指定事業

研究発表会を拝見しましたが、授業公開を伴わない発表であったので、残念でした。

○中学校区一貫教育の充実

中学校区一貫教育は、大変意義あるものと思います。中学校区の実態に応じた取組をいただくとともに、さらに就学前園との連携も密にした取組を期待します。

○学校事務の共同実施

共同で学校事務を実施することは、正確で効率的な事務処理につながると同時に、学校事務の人材育成にもつながると思います。以前より仕事内容が増え多様化する中、大変良い企画だと思います。更なる事業の充実を期待しています。

○教職員の働き方改革推進

教職員の仕事量が増加する中、県下に先駆けて市内全体で推進していることを評価します。単に仕事を減らすのではなく、仕事内容を見直し、統合できるもの、内容を精選するもの、メリハリをつけた実践により、効率の良い取組を行い、教育の質の向上を期待します。また教職員の健康管理にも充分目を向けてほしいと思います。

○市立高校の魅力づくり

機械科における取組は全国的にも画期的なものであり、中学校などと連携しビジネス情報科と併せて更なる充実やPRをお願いしたい。今後も設備等を含めた予算確保に努力していただきたい。

○人権教育推進事業

様々な人権問題に対応すべく、今後も、社会教育と学校教育が一体となってこれら様々な人権問題の理解と啓発が、すべての年齢層に広がるよう取り組んでほしい。

○スポーツと文化の推進

事業がスポーツにやや偏っているような気がします。玉野市には、文化の面でも優れた才能を持つ方も多く、これらの人材の協力を得ながらスポーツと文化の両面でバランスの良い事業の展開と予算組みをお願いしたいと思います。

■玉野市PTA連合会 会長 梶原 秀夫

「令和元年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告書」の説明を受けまして、とても素晴らしい事業を展開されている事が確認できました。教育委員会に対しまして、まず感謝申し上げます。

また、今年度は新型コロナウイルスの感染症対策にも徹底した対応を頂き、子どもたちの安心、安全を最優先にした学校運営を進めて頂きました事に心から御礼を申し上げます。

学校教育においては、キャリア教育と学力向上を柱とする中学校区一貫教育の推進、グローバル人材育成、また社会教育においては、生涯学習の場と機会の提供を充実させ、芸術、文化、スポーツの振興を図る事や、家庭教育の支援、地域の教育力の向上といった強い基本方針を立て、71という膨大な事業を計画し、それが実行できるように努力されている事が分かりました。

評価もAが35、Bが36、CとDが0と素晴らしい評価だと感じました。

重点施策の体系として、「心かよいあう家庭・地域社会の教育力充実」、「心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進」、「生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興」とありますが、素晴らしい事業が展開されている一方、不登校児童生徒の改善や教育環境の整備等まだまだ多くの課題もあるようにも見えます。教育サポートセンターの相談件数が増加している事にも今後も継続的に取り組みを続ける必要性を感じています。

非常勤講師やサポートスタッフを配置する事や関係機関との連携、地域学校協働本部事業等の効果的な展開を図り、学校と地域が相互にパートナーとして協力する事で、更に教職員の業務負担の軽減を推進して教育環境の整備を進めて頂きたいと思います。

P T Aと致しましても、子ども達の健やかな成長を祈るとともに、家庭教育にも努め、社会全体で子どもを育てる環境作りをめざして、より効果的な活動を進めて行きたいと思えます。

そして、今後も素晴らしい事業展開と玉野市教育委員会の益々の御発展、子ども達の健全育成を祈願しています。

■玉野市コミュニティ協議会 会長 江田 康夫

教育委員会に係わる多くの先生方には教育向上に多くの課題に向かいご尽力されておられることに感謝を申し上げます。

事務局の説明を受け、気になった点やお願いなど、重点施策の体系ごとに記したいと思います。

Ⅱ．心豊かでたくましく生きる人間を育てる学校教育・保育の推進

学力向上の推進について

小学校における３５人学級の実施や、学力・人間力育成事業による少人数指導やＴＴ指導等を実施されており、きめ細やかな指導に取り組まれているにもかかわらず、Ｂ判定が多いのが少し残念です。作成した学力向上プランに基づき、着実に実践し、多角的な取組の改善を図ることができたことについては、評価いたします。学習の取組方の充実と、落ち着いた学習環境が継続されることで、数値や評価にも結果が現れてくることを願っています。

保育士・教員等の指導力向上について

私が小学校の学校運営協議会委員として会議に参加した際、校長は教員の資質・能力の向上にしっかり取り組んでいきたいと言っておられました。そのあたりがもっと具体的に取組内容に記述されると良いと思います。

教育環境の整備について

全事業の評価がＡ判定であり、教育委員会と現場の先生方の様々な努力や工夫により効果が高く充実した施策が展開されている事に敬意を表します。今後も一層教育環境の充実が図られる事を願います。

Ⅲ．生きがいに満ちた人生を育む生涯学習の振興

玉野美術秀作展について

玉野美術秀作展は、年々出展者の負担が多くなっております。玉野市の芸術文化振興のため、出展者の負担軽減をお願いしたいと思います。秀作展は、入場者が千人を超えるなど、いかに多くの市民が美術を愛しているかが解ります。今後益々の美術文化、芸術文化の発展を願ってます。